（調査様式１）

１． 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和6年4月15日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675800090
法 人 名	社会福祉法人 昭芳会
事 業 所 名	グループホーム 芳明庵
所 在 地	;1k （電 話）0995-75-4622
自己評価作成日	令和6年3月1日

※事業所の基本情報は，WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人ＮＰＯさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町１６番A棟３F３０２号
訪問調査日	令和6年3月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

平成13年に開設され自然豊かな環境の中にある。
当初より利用者中心のケアに取り組み、社会福祉法人昭芳会の理念である「生活主義」「五感主義」「よりよく生きる」を職員一同が共有し日々取り組んでいる。各居室は広さも十分にあり、トイレ・洗面所も設置されておりプライバシーに十分配慮がされている。お風呂も温泉を利用しており利用者にも大変好評である。 併設する特別養護老人ホームやデイサービスとは見守りの体制や交流もあり、また火災訓練や災害対策など一緒に取り組んでいる。協力医療機関と在宅診療の体制が整っている。緊急時の対応も連携できており安心して生活することができる。職員の資格取得やスキルアップの取り組みも法人全体でバックアップの体制ができており、個人の資質向上に取り組んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点，工夫点（評価機関記入）】

ホームは宮崎県境に近い緑豊かな地に、同法人の運営する特別養護老人ホームやデイサービス、居宅介護支援事業所とともに所在しており、広い敷地内には多種多様の草花や果樹が植えられているため、身近に四季を感じることができるほか、梅や柿、ブルーベリーなどの果樹の収穫を行い、梅干し作りや干し柿作り、ブルーベリージャム作り等に利用者と共に楽しみながら取り組んでいる。

また、近隣住民より野菜のお裾分けを頂いたり、馴染みの美容室やお墓参りに出かけるほか、地域の還暦祝い行事である「餅勧進」の一行がホームを訪れるなど感染症対策を考慮しながら地域住民とのつながりが維持できるよう交流している。

地域柄、天然温泉に入ることができ、希望があればいつでも入浴することができるほか、汚染した際はシャワー浴や清拭等にも対応している。また、ユニット毎に異なったタイプの特殊浴槽を備えているため、立位や歩行、座位が難しくなった場合でも状態に合わせた浴槽を選択することで、安全に、また安心してゆっくり入浴することが可能である。

職員の意見を聞く機会は毎日の申し送り時や援助会議のほか、休憩時間等、自由に意見を出してもらっており、人事考課を兼ねた自己評価を個別面談により聞いている。また、介護福祉士等の資格取得においてはバックアップ制度があり、働きやすい環境にある。

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり，管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職員一同が理念の共有を行い五感を感じて頂く季節の食事や今までの生活ができるように支援してる	「生活主義、五感主義、よりよく生きる」の理念を玄関に掲示し、これまでの暮らしの継続や生活に季節が感じられるよう支援につなげており、月１回程度理念の振り返りも行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう，事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍によるボランティア等の受け入れは中止しているが、馴染みの美容院に行ったりの交流はある。	学校や地域行事への参加は自粛中であるが、馴染みの美容室に出かけたり、地域の方から筍や大根等のお裾分けを頂く機会は多い。また還暦祝い行事である「餅勧進」の一行がホームを訪れる等して交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	町の取り組みでひな祭りの塗り絵を入居者にして頂き展示をしてもらった。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	外部の方を交えての運営推進会議は開催で着なかったが、職員や同法人の役職者で会議を開き議事録を提出している。	運営推進会議は家族や行政職員等、外部からの参加は控えてもらっており、現在は施設長や職員等、法人内職員参集により実施しており、議事録を行政ほか、メンバー全員に送付して周知を図っている。	

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り，事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら，協力関係を築くように取り組んでいる	入退居の報告や事故報告等窓口に出向いたり電話にて報告したりと協力関係を築いている。	行政職員とは運営推進会議議事録や介護関係の書類提出時や相談事がある時等に出向き助言を受けている。今後はグループホーム協議会主催の研修に可能な限り参加できるようにしていきたいと考えている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており，玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	2か月に1回身体拘束廃止委員会を開催し、身体拘束について援助会議やミーティング時に話し合いを行っている	「身体拘束等適正化のための指針」を整備し、２か月毎に「身体拘束廃止委員会」を実施するほか、身体拘束排除マニュアルを活用した勉強会も行い、拘束のない自由な暮らしについて意見を交わしている。言葉による拘束については、利用者との接し方や言葉遣いについて繰り返し話し合うようにしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止について、勉強会を開催し、言葉の虐待についても普段から話し合いを行っている		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	援助会議やミーティング時に権利擁護について学ぶ機会を設けている。		

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時や改定時には契約書や重要事項説明書を提示いて十分に説明を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や担当者会議の機会に意見や要望を聞き取るようにしている。	利用者の意見は日常会話や日々の気付きから汲み取るほか、家族からは面会に来られた際や海外在住の家族にはラインにより話を伺い汲み取るようにしている。また、毎月送付するお便りも感想を伺う機会として活用しており役立っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	援助会議で出た意見等を職長会議で報告し議論し反映している	職員の意見は申し送り時や援助会議、休憩時間等に聞くほか、人事考課を兼ねた自己評価を個別面談により聞いている。また、介護福祉士等の資格取得の際はバックアップが得られる仕組みが整備されており働きやすさにつながっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員が年2回自分の目標を決めて取り組み自己日評価を行い上司が評価をするようになっている。		

自己評価	外部評価	項　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新人研修や各研修会への参加は法人全体で積極的に取り組んでいる。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会に所属しており、交流や勉強会等に参加している。		

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時に本人と面談し意見や不安なことなどをよく聞くように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用開始時に家族と面談を行い困っている事や要望を確認している		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	医療的ニーズのある方には在宅医療のサービスを利用するように勧めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者のできる部分を引き出しながら、パーソンセンタードケアの考えで支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との面会を大切にして、家族にできる事は協力を得ながら支援を行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	美容院などは馴染みの店に出かけている。	これまでの馴染みの人や場所についてを把握し、入居後も関係が途切れないよう職員が美容室に同行したり、受診の帰りにお墓参りに立ち寄るなど関係継続に努めている。また隣接するデイサービスを利用する友人との交流も継続できている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の交流を考えて、食堂で隣同士に座ってもらったりレクレーションに参加してもらっている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後でも運営推進会議に近隣代表として出席しておらっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時や介護計画更新時に本人の思いを確認し、困難な方の場合は家族や生活歴等の情報から本人の立場に立って検討している。	本人の思いや暮らし方の希望、何をしたいか等を「まるごとシート」に記入して把握するほか、日々の生活の中での気付きを連絡帳に記録して職員間で情報を共有し、本人本位で過ごせるようケアに反映させている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	「まるごとシート」を利用して生活歴の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	定期的なアセスメントを行い現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画の作成時には担当の意見や援助会議において意見を出したり家族の要望等聞き入れながら作成している。	日常生活の中から本人の意向を汲み取り、家族からは面会時等に意向を尋ねプランに反映させている。また、毎月の援助会議やモニタリング評価も参考に、新聞や読書、美容室に出かけること等をプランに組み込み、ケアへの実践につなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子をケースに記録して、情報を共有し介護計画作成に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	併設の介護施設と協力し顔見知りも多いことから交流したり、ボランティア等の受け入れをしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の協力や併設事業所の協力がある。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者は在宅診療を利用されており、必要に応じて受診したり家族送迎にて受診したりと、適切な医療を受けるように支援している	週２回の訪問診療と週１回の訪問看護が受けられる安心感から現在、利用者全員が協力医療機関をかかりつけ医として登録しており、受診の内容は連絡帳やケース記録に記入して職員間で情報を共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	在宅診療の看護師に状態の変化や気づいた事など、その都度伝えたり相談ができている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時のサマリーや本人の情報など病院関係者と連絡を取り合い、入院時の様子などもなるべく情報交換するよう努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に終末期のあり方について説明をして、重度化した時に家族や主治医で話し合う機会を設けている。	入居時に重度化や看取りについて説明しているが指針を整備しておらず、口頭による説明だけに留まっている。これまでに看取りを行った事例はあり、入居後、体調に変化がみられた場合に主治医と家族、職員による話し合いにより、今後の対応についてを検討し、本人や家族の望む支援に対応している。	重度化の指針、看取りの指針を整備しておらず、口頭による説明に留まっているため、今後は入居時や状態が変化した場合等に書面により説明できるよう同意署名欄を含む指針を早急に整備することが望まれます。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	援助会議や勉強会にて緊急時の対応について定期的に行っている。		

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回併設の介護施設と協力して近隣の消防署の立ち合いの元地震・火災の訓練を行っている。	年２回夜間想定を含む災害訓練を併設する特別養護老人ホームとデイサービスと合同で実施している。備蓄に関しては「非常時物品、食料品リスト」を作成し、約３日分の食料を準備するほか、カセットコンロやヘルメット、懐中電灯等も備えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇等の研修を行ったり、言葉かけ等普段から気をつけている。	権利擁護の研修を実施し、スピーチロックや名前の呼び方、言葉遣い等について話し合っている。トイレ誘導の際は耳元でさり気なく声を掛け促すとともに、居室内のトイレであっても外部から見えないよう気を配り対応している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が自分の意思を言いやすいような声かけをしたり、自分の意思で決める事ができるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の個々のペースに合わせて、その人らしい生活ができるように支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	自分で洋服が選べる人には選んで頂いている。美容院等行かれるときは支援している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	好みの物や、季節の食材を提供して食事が楽しくなるように工夫している。その人の状態に合わせて片付け等されている	平日の夕食は特養の厨房から配食されるが、朝昼食と日曜日は利用者もテーブル拭きや調理の下ごしらえに参加している。敷地内にある柿や梅の実を収穫して今年も利用者と一緒に干し柿や梅干し作りに取り組んだ。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量は記録している。状態に応じた食事量や栄養等確保できるように支援している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、本人の意思を尊重して口腔ケアを行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを把握してトイレでの排泄ができるように支援している	居室にトイレがあるため、トイレの際はさり気なく声を掛け、居室に誘導している。排泄チェック表を参考にこまめにトイレ誘導を行うことでリハパンツの汚染を減らすことができ、保清や排泄用具の使用削減にもつなげられている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給や野菜中心の食事を心がけているが、排便が確認できない時は薬等で排便を促している		

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	曜日等は決められているが、状態により変更したり、温泉の為ゆっくり湯舟に浸かって頂いている	天然温泉に週２回入ることができ、希望があれば連日の入浴も可能である。昭和館には浴槽縁が下がるタイプの特殊浴槽を、芳明庵にはリフトを備えているため、重度化しても安全に入浴することができる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個室であるのでいつでも休息はできている。夜間は安心して眠れるようにその人の習慣に合わせて就寝していただいている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬説明書を個人別にファイルしてありいつでも確認できる。薬が変更となった場合は連絡帳に記入し症状の変化等ないか確認をしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	新聞を読んだり、洗濯物たたみ裁縫などその人の楽しみごとなどできるように支援している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍において外出が中々できなかったが、病院受診の際など自宅の近所などに出かけたるすることはできた	梅や桃、桜や柿、ブルーベリー等、多種多様の草木が植えられた広い敷地内を車椅子の利用者も日常的にのんびり散歩しながら日光浴を楽しむほか、季節毎に花見ドライブに出かける等して気分転換を図っている。また、受診の際にお墓参りに立ち寄るなど個別に希望する外出先にも対応している。	

自己評価	外部評価	項　　目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人と家族の話し合いで、お金の管理ができる人はお金を所持しており、使えるように支援している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	事業所の電話はいつでも使用できる。携帯電話を使用されている方もいる。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂・居間等は季節の飾りつけをしたり、花や植物を置いて居心地よく過ごせるように工夫している	フロアには利用者と職員が一緒に作った季節毎の壁画を飾るほか、敷地内に咲く草木を飾るなどして季節感を演出している。対面式キッチンからは利用者の様子がよく見えるため、転倒予防にもつながっており、浴室もユニット毎に違うタイプの特殊浴槽を備えているため、重度化しても安全に入浴できる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングで気の合う利用者同士が一緒に過ごせる環境を作っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人や家族と相談して今まで使っていた家具など持ってきてもらったりしている	エアコンやベッド、トイレ、洗面台が備え付けられるほか、タンスやテレビ、時計や位牌、冷蔵庫等、自宅で使用していた馴染みの品を自由に持ち込み、居心地よく過ごせるように配置している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やトイレ内に手すりを設置し安全に過ごせるようにしている		

Ⅴ アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 （参考項目：23,24,25）		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 （参考項目：18,38）	○	1 毎日ある
			2 数日に１回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 （参考項目：38）	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 （参考項目：36,37）		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 （参考項目：49）		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 （参考項目：30,31）	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 （参考項目：28）	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 （参考項目：9,10,19）		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 （参考項目：9,10,19）		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に１回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して，地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり，事業所の理解者や応援者が増えている。 （参考項目：4）		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，活き活きと働けている。 （参考項目：11,12）		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない